

開催月日 : 令和5年 3月15日(水) 14:00~15:00

第2回 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
介護医療連携推進会議 議事録

主 催	グッドライフケア24(江東) 管理者:落合 康雄
2022年度 第2回介護医療連携推進会議について	
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoom(オンライン)開催による代替措置を行うこととした。	
1. 開会の挨拶及び出席者の自己紹介	
御多忙の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。2022年度第2回介護医療連携推進会議をZoom(オンライン)にて開催致します。皆様、宜しくお願い致します。	
ご出席者の皆様から一言ずつ自己紹介をしていただく。	
2. 運営状況報告	
別紙のとおり2022年9月から2023年2月までの運営状況報告を行う。	
2月末の時点で15名の方がサービスを利用されている。内1名は入院中のため実際は16名となる。	
男性の比率が高い傾向にあり、特に独居の方が多い。	
要介護度1~3の軽度者から中度者の方が多い傾向にある。	
地域別では江東事業所近辺である豊洲、東雲、辰巳に集中している。	
有明や南砂などのエリアからも新規のお問い合わせがあるが、事業所から遠方であること。	
現在の人員では対応困難なため、お断りしている。	
コール件数は多いものの、実際に随時訪問している件数は少ない。誤報や随時対応で済むことが多い。	
要介護度別の定期訪問回数について。	
2月末で要介護4の訪問回数が2回なのは2月末に退院され夕方と夜の2回のみ訪問だったためである。	
他の月も同様で9月の月末に一時退院され10月1日にすぐに入院されたため回数が極端に少ない。	
稼働件数はこの半年間で13件➡15件と微増である。	
3. 新規利用者様のご紹介	
計画作成責任者より2022年9月から2023年2月までの新規利用者様の紹介を行う。	
別紙資料を参照とする。	
訪問看護は依頼時から医療保険で他社看護が決まっていることが多い傾向にある。	

4. ご意見・ご感想・講評など

意見: 評価表にもコメントさせていただきましたが11月の平均利用回数が1人あたり1.6回と少ないです。

実際は1日何回ぐらい訪問されていますか？また要因は何でしょうか？

回答: 要介護5の方で毎日1日5回介入しているケースもあります。弊社ではアセスメントに基づき基本的には要介護度に応じて要介護3であれば毎日1日3回程度訪問しています。平均利用回数の少ない要因としてショートステイの利用によるものが大きいです。要介護5の方と要介護3の方など毎月2~3名の方がショートステイを利用されるため、その期間のサービスがないです。また入院や家族対応でキャンセルになるケースもあり、後はその積み重ねの結果かと思われます。

意見: 定期巡回を依頼される居宅介護事業所は限られていますか？

回答: 同法人の居宅介護と他社居宅だと4社程から依頼をいただいています。

意見: 定期巡回を知らなかったり使い方が分からない居宅事業所がいます。そういった事業所に対してPRをしてほしい。

感想: 後期の新規では依頼時から既に医療保険で訪問看護の事業所が決まっていることが多かった。

事前に病院からの紹介で決まることが多い。後から介護事業所を探すことが大半である。

意見: 同法人内の訪問看護とは法人内の情報共有システムで連携しているが、他社の訪問看護とは電話やFAX等の昔と変わらない方法で連絡を取り合っているためタイムラグが生じることがある。

アプリは弊社では情報の管理、セキュリティ兼ね合いで活用していない。

今後、他社看護とどのようにしてスピーディーに連携していくか、課題である。

看取りケアなど、医療ニーズの高い方が増加傾向にあるため連携の強化は必須である。

意見: アセスメントの際など訪問看護さんと一緒に介入していくのはどうか。

その場で情報の共有やアドバイス等ができると思います。

意見: 江東区北砂や南砂など豊洲の事業所からでは遠方ということもあり、なかなか広範囲をカバーすることができない。人員の関係もあるが基本的には事業所から自転車です30分以内に訪問できるエリアを対応している。

2023年3月~新しく定期巡回の事業所を開設されたところがある。

意見: 定期巡回を利用するにあたり、アセスメント力が求められる。

退院直後で生活状況が不明な場合に定期巡回で毎日複数回介入することにより、情報を得られる。

退院直後は定期巡回で生活状況を把握し、次につなげることができる。

定期巡回で開始し、翌月には訪問介護へ移行したケースもある。

意見：定期巡回の良さである毎日複数回訪問できることを活用し、お薬を確実に服用することで体調が改善されたり、安否の確認ができるなど良さがある。メリット、デメリットはあるので訪問介護との使い分けが重要である。

5. 閉会挨拶

以上を持ちまして第2回、介護医療連携推進会議を閉会と致します。

御多忙の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございました。

次回の会議は令和5年の9月中旬頃を予定しています。

開催方法、開催日時は構成委員の皆さまには改めてご連絡致します。